

ひまわり



平成31年4月12日(金)

言葉を大切に



2011年3月11日は、日本にとって、とりわけ東北地方にとって忘れられない日です。14時46分18秒、大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生し、津波による被害は甚大（じんだい）でした。また、地震に伴う福島第一原子力発電所の事故は深刻なもので、今なお事故対応が続けられています。完全な復興までには、まだまだ多くの時間がかかりそうです。。

そんな中、東京オリンピック・パラリンピック競技担当の国务大臣（五輪相）の心ない発言が報じられていました。あるパーティーで、出席者らを前に「復興以上に大事なものは〇〇（衆議院議員）さんだ」と発言したのです。この報道を聞いた時、私は、この大臣は何を考えているのか、と憤りを感じました。大震災では、尊い生命や財産が一瞬のうちに奪われてしまいました。8年経った今も、その痛手を負っている人がたくさんいることを、この大臣は理解できていないのでしょうか。話の前後は分かりませんが、この発言には、大臣以前に人としてどうなのか、ということを考えさせられました。

言葉は、相手の心に温かさを伝えるものでなくてはなりません。その遣いようによっては、人の心を突き刺す刃（やいば）になることもあります。ですから、私たちは、日頃から優しい言葉遣い、丁寧な言葉遣い、温かさを伝える言葉遣いをしなければならないのです。また、目上の人には敬語で話す。人をお願いをする時は、相手に関わらず丁寧な言葉遣いが必要です。

皆さんの日々の言葉遣いはどうでしょうか。「言葉遣いは心遣い」「言葉遣いは品格を表す」ということを忘れず、優しい言葉遣い、丁寧な言葉遣い、温かさを伝える言葉遣いを実践していきましょう。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>